

# 第3回

# BECC JAPAN 2016

Behavior, Energy & Climate Change Conference

主催 省エネルギー行動研究会

後援(予定): 経済産業省、環境省、エネルギー・資源学会、日本エネルギー学会 ほか

協賛: 株式会社アイ・グリッド・ソリューションズ、大阪ガス株式会社、東京ガス株式会社、  
電気事業連合会、日本ガス体エネルギー普及促進協議会 ほか

期 間

2016年9月6日(火) 本会議  
9月7日(水) 施設見学会

会 場

9月6日 本会議  
慶應義塾大学 三田キャンパス 南校舎  
(東京都港区)

9月7日 施設見学会

楠公レストハウス  
(東京都千代田区)

定 員

9月6日 本会議 / 250名程度

9月7日 施設見学会 / 30名程度

参 加 費

早期割引(7/18 17時まで)

一般	18,000円
教育・研究機関	13,000円
学生	5,000円

通常料金(7/19-8/31 17時まで)

一般	20,000円
教育・研究機関	15,000円
学生	7,000円

交流会参加費 施設見学会参加費

別途2,000円 別途2,000円

申込方法

ホームページ/BECC JAPAN 2016/  
参加申込欄から、必ずお申込みください。

<http://www.seeb.jp/>

※電話・FAX・E-mailでの申込受付は行っておりません。  
※当日の参加申込は受け付けられませんので、ご注意ください。  
※申込手続きが完了すると、登録されたメールアドレスに  
メールが送信されます。

申込締切

2016年8月31日(水)

## 全体プログラム

9月6日

- 9:30～10:00 受付開始  
10:00～10:05 開会挨拶  
10:05～10:20 来賓挨拶  
10:20～11:40 基調講演:「IoTと省エネルギー行動」  
東京大学大学院 情報理工学系研究科 江崎 浩 教授  
11:40～12:10 ランチ休憩  
12:10～13:00 ポスター発表  
13:00～17:40 口頭発表・ライトニング発表  
●セッション1A(口頭): 省エネルギー行動と意思決定  
●セッション1B(口頭): 家庭における省エネルギー行動変容促進策  
●セッション2A(口頭): 省エネルギー行動啓発の実践方法  
●セッション2B(ライトニング): 政策・消費者意識・教育  
●セッション3A(口頭): 事業所における省エネルギー行動変容促進策  
●セッション3B(ライトニング): HEMS・デマンドレスポンス・住宅選択・ICT  
18:00～19:30 交流会

9月7日

施設見学会(午前10:00～12:30)  
楠公レストハウス(千代田区皇居外苑1-1)

お問い合わせ先 省エネルギー行動研究会事務局 (株式会社 住環境計画研究所 内)

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-29 紀尾井町アークビル3階

TEL.03-3234-1177 FAX.03-3234-2226 E-mail: info(at)seeb.jp ※(at)は@に書き換えてください

担当: 篠、齋藤、玄、平山

# 本会議 詳細プログラム

## (1) 口頭発表セッション (各25分、質疑含む)

<b>1A</b>	<b>省エネルギー行動と意思決定</b>	<b>司会：杉浦 淳吉 (慶應義塾大学)</b>
13:00	省エネ行動の実践度と省エネ機器の選択における意思決定	天野 晴子 (日本女子大学)
14:40	新築戸建て住宅における住宅設備・性能の導入に関する研究 - 施主の属性と住宅取得時の選択影響要因を観点に -	前 真之 (東京大学)
(100分)	新築マンション居住者に対する入居前のアンケート調査結果 - 家庭内における省エネルギー行動と意識に関する研究 その1 -	坊垣 和明 (東京都市大学)
	省エネ行動を実施していない理由は? - 都民に対するアンケート調査結果 -	諏佐 あゆみ (公益財団法人東京都環境公社)
<b>1B</b>	<b>家庭における省エネルギー行動変容促進策</b>	<b>司会：団栗 知男 (省エネルギー行動研究会)</b>
13:00	ホームエネルギーレポートによる消費者の意識・行動の変容と省エネルギー効果 - 日本初のホームエネルギーレポート大規模実証試験から -	平山 翔 (株式会社住環境計画研究所)
14:40	日々の生活行動の違いに着目した省エネアドバイス実証	小澤 暁人 (国立研究開発法人産業技術総合研究所)
(100分)	デマンドレスポンスによる需要家行動の経時変化に関する考察	辻本 将晴 (東京工業大学)
	室内外環境の見える化システム構築に関する研究	中島 裕輔 (工学院大学)
<b>2A</b>	<b>省エネルギー行動啓発の実践方法</b>	<b>司会：江口 俊一 (省エネルギー行動研究会)</b>
15:00	省エネ行動の普及に向けたゲーミング・シミュレーションの開発と展開	杉浦 淳吉 (慶應義塾大学)
16:15	外食など中小規模チェーンにおける省エネルギー行動を伴う運用改善の実践と継続について	長島 守 (株式会社アイ・グリッド・ソリューションズ)
(75分)	省エネルギー行動を誘発するPOPの効果	糸井川 高穂 (宇都宮大学)
<b>3A</b>	<b>事業所における省エネルギー行動変容促進策</b>	<b>司会：坊垣 和明 (東京都市大学)</b>
16:25	人工知能 (AI) アルゴリズムを用いた省エネアドバイスの自動生成に関する考察	熊沢 拓 (ミツイワ株式会社)
17:40	中小事業所向け省エネアドバイス自動生成ツールの改善検討	小松 秀徳 (電力中央研究所)
(75分)	オフィスビルを対象としたBEMSのADRの効果実証について	牛房 義明 (北九州市立大学)

## (2) ライトニングセッション (各10分、質疑含む)

<b>2B</b>	<b>ライトニング：政策・消費者意識・教育</b>	<b>司会：天野 晴子 (日本女子大学)</b>
15:00	省エネルギー対策におけるリバウンド効果と日本への示唆	向井 登志広 (電力中央研究所)
16:15	政府の省エネ予算は適切に使われているか - 日米の予算比較と行動変容プログラムへの示唆 -	木村 幸 (電力中央研究所)
(75分)	函館山の夜景LED化サポート意思額の規定因：環境配慮行動からのアプローチ	小林 翼 (北海道大学大学院)
	地球温暖化についての政府と生活者との間のコミュニケーションのこれからの方向性 - 有識者座談会の結果報告 -	小山田 和代 (みずほ情報総研株式会社)
	家庭における親子の省エネルギー意識・行動の実態に関する研究	高田 宏 (広島大学)
	日本型省エネ教育モデルとしての『省エネ行動スタートBOOK』の開発	松葉口 玲子 (横浜国立大学)
	エネルギー環境教育から見る省エネ教育のあり方 - 次世代に向けたエネルギー環境教育を通して -	庄司 武 (東京ガス株式会社)
<b>3B</b>	<b>ライトニング：HEMS・デマンドレスポンス・住宅選択・ICT</b>	<b>司会：前 真之 (東京大学)</b>
16:25	HEMSデータを活用した家庭用エネルギー診断の効果	八木田 克英 (東京大学生産技術研究所)
17:40	大規模電力消費実態データの分析 - 1万5千軒の住宅HEMSデータの分析結果に基づく電力消費分析 -	本田 智則 (国立研究開発法人産業技術総合研究所)
(75分)	住宅を対象としたデマンドレスポンスの実証実験	田中 洋一 (東邦ガス株式会社)
	時間帯別料金によって家電利用行動は変化するのか? - 調査観察データによる行動変容分析 -	西尾 健一郎 (電力中央研究所)
	環境性能を有する住宅の選択と居住者満足に関する研究 - スマート住宅の受容可能性についての社会心理学的考察 -	鷺津 明由 (早稲田大学)
	設計者と施主の環境意識共有のためのコンテンツ作成	新富 凌汰 (東京大学)
	大阪ガスにおける業工用省エネICTサービスの取り組み	木村 浩康 (大阪ガス株式会社)

## (3) ポスターセッション (50分、質疑含む) 12:10 ~ 13:00

日常生活における背景的価値観・意識構造と電力消費量の関係	環境意識と電力ピークシフト
大塚 彩美 (横浜国立大学)	平湯 直子 (武蔵野大学)
食器洗浄に関する情報提供の意識・行動変容効果	東京都北区「ごみ減量モニタリング調査」から見るごみ削減に関する行動変容効果
荒木 葉子 (新渡戸文化短期大学)	久松 裕子 (東京家政大学)
中学生の食生活に関する省エネ教育による意識・行動変容効果	既存マンションにおけるエネルギー消費調査結果
奈良 英代 (藤女子中学校・高等学校)	- 家庭内における省エネルギー行動と意識に関する研究 その3 -
実験集合住宅NEXT21における省エネライフスタイルの変容に関する研究	阿部 寛人 (東京都市大学)
志波 徹 (大阪ガス株式会社)	既存マンションにおける省エネルギーに関するアンケート調査結果
停電時自立システムの実証試験結果 (NEXT21実証試験)	- 家庭内における省エネルギー行動と意識に関する研究 その2 -
平井 友之 (大阪ガス株式会社)	吉田 一居 (東急不動産次世代技術センター)
環境行動変容のための建築のアフォーダンスに関する研究	1次エネルギー消費量の削減に効果的な省エネ給湯システムの検討
- 階段利用を促進させる建物エントランスのアフォーダンスに関する調査 -	辻 英之 (東京ガス株式会社)
青柳 光 (九州大学)	食生活における省エネ行動変容ステージモデルに応じた教育・支援策による行動変容効果
日米の省エネ意識の比較 - BECCにおける省エネ行動プログラムの動向を通じて -	赤石 記子 (東京家政大学)
大石 幸奈 (東京大学)	『省エネ行動スタートBOOK』を活用した授業実践
	岩瀬 正幸 (共立女子大学)